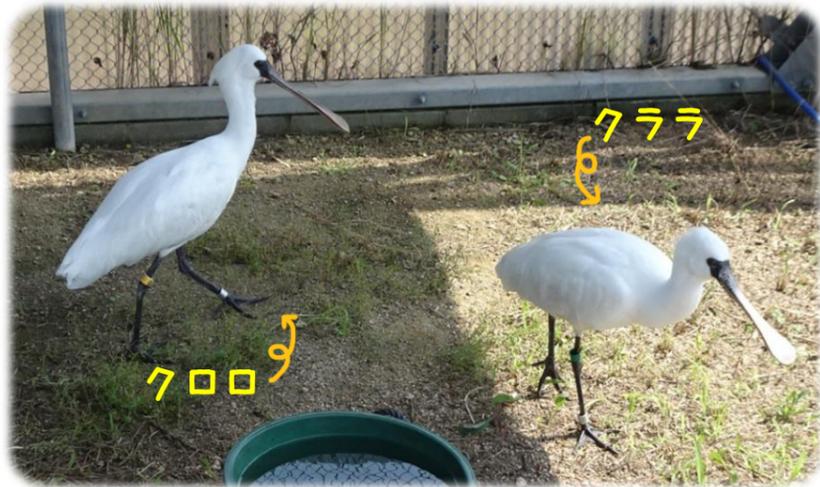


クロツラヘラサギがやって来ました!



新しくオスのクロツラヘラサギがやってきました。
名前は「クローロ」。黄色い足環が目印です。
「クローロ」と「クララ」、なかよくしてね!

2025年(令和7年) 9月の行事案内

詳細は、HP・FBをご確認ください。

渡り鳥のクロスロード
新光産業きらら浜自然観察公園
ふち楽しいバードウォッチング⑥

シギ識別

2025年9月14日(日)
10:00~12:00

私はシギの仲間が通ってくる季節です。
実物を観察しながら、よく似たシギの識別ポイントを学びましょう

ふち楽しいバードウォッチング⑥
～シギの識別～

日程:9月14日(日)
時間:10:00~12:00
内容:シギを見分けるために見るべきポイントを紹介!

土曜・日曜・祝日のイベント案内

★バードウォッチング 11:00~12:00 ※生き物ガイドと統合しました。

ご希望に合わせて鳥だけでなく他の生き物観察も実施!

(6日・7日・13日・15日・20日・23日・27日)

★楽しい工作教室 14:00~15:00

①「貝がらでつくるいきもの」(6日・7日・13日・14日・15日)

②「貝がらモバイル&風鈴」(20日・21日・23日・27日・28日)

★こどもあそびのひろば 15:00~16:00

6日(土)「毘ひきあげ!海 version!」

13日(土)「外来植物ひっこぬきヘルパー」

20日(土)「干潟であそぼう!」

27日(土)「いきものトツテミル」

★楽しい紙芝居・絵本の読み聞かせ 15:00~15:30 (14日・21日・28日)

★スペシャルプログラム 15:00~16:00

7日(日)「ベッコウトンボの幼虫カウント」

15日(月祝)「ぽんぽんバードづくり クロロちゃん ver.」1個100円

23日(火祝)「バッタ釣り」

★レンジャーのお仕事プチ体験 15:30~16:00 ※新プログラム

生き物をつかまえる、調査する、世話をする…何をするかはその時次第!

(14日・21日・28日)

きらら浜 公園だより



トビ

2025年
9月号
No.293



新光産業きらら浜自然観察公園

休園日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)年末年始は12月28日~1月1日・1月4日

ビジターセンター入館料 200円(18才以下無料。20名以上の団体は1名160円)

開園時間 午前9時~午後5時

住所 〒754-1277 山口県山口市阿知須 10509-53

TEL 0836-66-2030 FAX 0836-66-2031

Eメール kirara-m@gaea.ocn.ne.jp

ホームページ <https://kirara-h.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/kirarahama>

Instagram <https://www.instagram.com/kirarahama/>

指定管理者 NPO 法人野鳥やまぐち

行事案内・観察速報など 情報満載!

ホームページ



Facebook



youtube



きらら浜自然観察公園



トビ

- タカ目タカ科
- 全長…オス58cm、メス68cm
- 見られる時期
…一年中見られる留鳥
- 見られる場所
…海岸や農耕地、山地などは広く見られる。
- エサ…主に死んだ動物や
うちあがった魚など
上空高く飛びながら探す。
- 鳴き声「ピーヒョロロ…」

きらら浜では上空高くを飛んでいる様子や、干潟で魚などのエサを食べている様子がよく見られる。

拾ってきたエサを干潟の杭の上に運んできて食べる。

尾羽をひろげていないときは真ん中がへこんでいるように見える。



翼をひろげたまま羽ばたかずに
風や上昇気流をつかって飛ぶ。



全体は茶色で翼下面の一部に白い部分がある。

尾羽をひろげると台形のかたちに見える。



他のタカの仲間は尾羽をひろげるとおうぎ型に見える。

潮が引くと、干潟にうちあがった魚を食べる様子が見られる。カラスとエサのとり合いになることもよくある。



飛び方や何を食べているかなど、特徴や行動をじっくり観察してみよう！

9月の公園は…

まだまだ残暑が続きますが、そこかしこに秋の気配が感じられる頃です。虫も鳥もすっかり大人になり、夏とは違った姿が見られます。



マイアカネ



リサアカネ



ノシメトンボ

夏には淡い色合いだったアカトンボの仲間もすっかり赤く色づきました。赤いのはみんなオスです。



カマキリ



ハラビロカマキリ

交尾時にオスがメスに食べられてしまう、という話はあるのですが理由ははっきりわかりません。一番有力な説はオスを食べると産める卵が増えるから。



ショウリョウバッタ



マダラバッタ

草むらを歩けば飛び出してくるバッタの仲間も、翅がはえた大人の姿に。バッタはコオロギのように鳴かない…と思われていますが、実は鳴く種類もいます。



ガマ



ヒメガマ

水辺に立っているフランクフルトみたいなガマの穂は最初はカッチカチ。次第にふわふわとほどけ、中にあつちやんちの種を風にのせて遠くまで飛ばします。



ハチクマ



サシバ

9月半ばはタカの渡りのピーク。時には何百のタカ柱となって南へと渡る様子が観察できますが、その日の風向きによって渡りのルートが変わります。



どこから流れ着いたのか…

レンジャーの1ショット

「みずまんじゅう的な」



干潟が打ちあげられたミズクラゲだらけになった日がありました。見た目は巨大な輪切りキュウリサラダ（味はなさそう）。さわり心地はナタデココ（こんなお肌になりたい）。試してみたいウォーターベッド的なクラゲベッド（体質によってはかゆくなるので注意）。